

12. 日系ブラジル人の子ども達への心のサポート

グループ名 レガウ
代表者名 西田 奈緒

① 活動の目的

現在、岡山県総社市にはデカセギにきた日系ブラジル人の方が多くいます。彼らの子ども達は、日本生まれで日本語が堪能な子ども達もいれば、ブラジル生まれで親御さんと共に日本へ来て、日本語があまり上手に話すことのできない子ども達もおり、文化や習慣の違いで日本の学校に中々慣れることができず、言葉の壁から勉強にもついていくことのできない多くの子どもたちが不登校になっています。そういった子ども達の学校教育のフォロー、またポルトガル語を全く話せない子のためのポルトガル語教育、そしてメンバーには子ども達と年齢が近い人や、子ども達と同じくらいの年の子どもを持つ人もいるので、それぞれの知識や経験を生かし、子ども達が学校の先生や親御さんに中々話すことのできない悩みなどの心のケアにも重きを置き、子ども達の日本での生活環境が少しでも良くなるための手助けをすることを目的に活動をしています。

活動は毎週土曜日の10時～16時に、小学生や中学生を対象に行っています。

② 活動概要

私たちは日本の歴史や文化に直に触れてもらうために、広島県の宮島へ日帰り遠足に行きました。子ども達だけではなく、いつもは忙しくてコミュニケーションを取ることのできない子ども達の親御さんや、信頼関係の構築のために、いつも交流のある地域の方を誘い、当日は大型バスを借りて約30名で宮島へ出発しました。

バスの中では、初対面の人たちもいたので、一人一人自己紹介をしました。そして、宮島についての歴史を、日本語だけではなく、ポルトガル語の通訳を入れて、みんなで勉強をしました。子ども達への歴史の勉強にも繋がったので、とてもよかったです。

宮島では、紅葉の季節でもあったので、日本独特の美しい景観を楽しむことができました。親御さん方もすごく喜ばれていました。また、和装の人や、戦国武将の鎧を着た人もおり、子ども達もとても喜んでいました。宮島を散策した後には、みんなで広島名物のもみじまんじゅう作りを体験し、文化・歴史だけではなく、日頃作ることがない和菓子作りにも実際に体験することにより、子どもに対してだけではなく、大人同士もお互いに助け合いながら作業をすることができ、よりお互いの距離を縮めることができたと思います。



宮島 厳島神社にて 集合写真



もみじまんじゅう作り体験にて 集合



もみじまんじゅう作り 体験風景



鎧を着た戦国武将



和装を着た人と



引き潮

③ 活動を終えて

今回、紅葉の時期に宮島に行くことができ、美しい日本独特の景観をみんなで共有でき、引き潮も見ることができ、とても貴重な体験をすることができたと思います。子ども達が喜んでくれたこともとても嬉しかったです。この遠足を通じて、今まであまり交流をはかることのできなかった地域の人たちを含めて子ども達の親御さんともより深く交流をはかることができたので、とてもよかったです。また、子ども達にとっても、いつも自分たちが住んでいる街から離れて、日本の文化や歴史に触れ、日頃体験することがない体験をすることで、心のリフレッシュにも繋がったと思います。今回のこの旅行で、ご両親や地域の人と交流を深めることができ、お互いのことを認識することができたのは大きな一歩だと思います。今後も子ども達のサポートをしていくためにも、親御さん方と地域の方との連携を深め、一人一人ができることを最大限にしていきたいと思う。

④ 決算報告書

収入	支出
大同生命助成金 100,000 円	貸切バス代(大型) 120,000 円
	有料道路大(大型) 13,450 円
	駐車場代(大型) 3,500 円
	フェリー往復(大人23名) 6,440 円
	フェリー往復(小人6名) 780 円
	▼割引 170 円
合計 100,000 円	合計 144,000 円

